

今回は前立腺肥大症の治療について、詳しく説明していきます。
前立腺肥大症の治療方法は大きく3つあります。下部尿路排尿症状の改善を通じて、QOL(クオリティオブライフ…生きがい、生活の満足度)が充実していきます。

① 薬物療法

〈α遮断薬〉

前立腺肥大症に対して使用される最も一般的な薬剤です。前立腺の平滑筋には交感神経の受容体(α…平滑筋を収縮させる)があります。この薬は前立腺と膀胱の出口部の平滑筋の緊張を緩めることで、前立腺による閉塞を緩和し、症状を軽減させます。

〈5α還元酵素阻害薬〉

この薬によって、前立腺の増大に関わるジヒドロテストステロンという男性ホルモンの1種の産生を抑制することで前立腺を小さく

する治療です。

5阻害薬

【男性が注意すべき病気、前立腺疾患】
いわれて医療通信



3. 前立腺肥大症の治療について

いう酵素によって分解されます。この薬はこの酵素を阻害することで、前立腺や膀胱および下部尿路血管の平滑筋を弛緩させることにより排尿症状を緩和させるお薬です。

② 手術療法

手術療法は、薬物療法の効果が不十分である時、中等度から重度の症状がある時や尿閉・尿路感染症・血尿・膀胱結石などの合併症がある時に考慮されます。内視鏡を用いた経尿道的手術が中心で、膀胱の不可逆な機能低下がある場合には手術で改善が得られないことがあります。

③ 保存療法

その他の治療

生活習慣の改善が重要です。過剰な飲水やコーヒーやアルコール摂取が排尿症状に影響したり、重症の便秘で排尿障害が生じたりすることもあります。薬物療法で改善が見られない場合

などは間欠導尿を行っていただくこともあります。

また、合併症のため他の治療が困難であれば尿道カテーテルが留置される場合もあります。

前立腺肥大症について書かせていただきましたが、排尿症状でお困りの方は性別に関わらず一度、泌尿器科専門医への受診をお勧めします。

岩手医科大学 泌尿器科
加藤 廉平